



柳の月け  
おの  
ま



三編上





山ノ亭有人記

山ノ亭有人記



寺ハ駒込吉祥寺ト云眼機開ノ機切形  
 牙也此口画一ありて寺ハ例ノ奇妓院  
 賞賜賜大伽藍茶湯座座や次ノ  
 間を機關と做し混濁ハ竹田ニありて吉田ノ  
 初代ガ替は八百萬趣向と博して真海ガ  
 墮落を見まの意ニありて學文能成ぬ  
 果敢を以て透明眼鏡ニ雙襦ガ見透御眼  
 ノ留らん場ハるけれと是兆る裁詩ノ境ま  
 らん結句まの縛長くとまありて御覽を  
 わがよる事

門へ13  
 號3828  
 卷 3





子太郎妻お為

奇妓院真海

俳優水木多門

奇柱戀

新千載集

舞のこあき本の柱  
おまてぬらぬら  
みややまきりぬらん  
従三位伊俊

甲 三

乙 三





111

あつめ  
られし  
ミテ  
あつめ  
られし  
ミテ

あつめ  
られし  
ミテ  
あつめ  
られし  
ミテ

あつめ  
られし  
ミテ  
あつめ  
られし  
ミテ

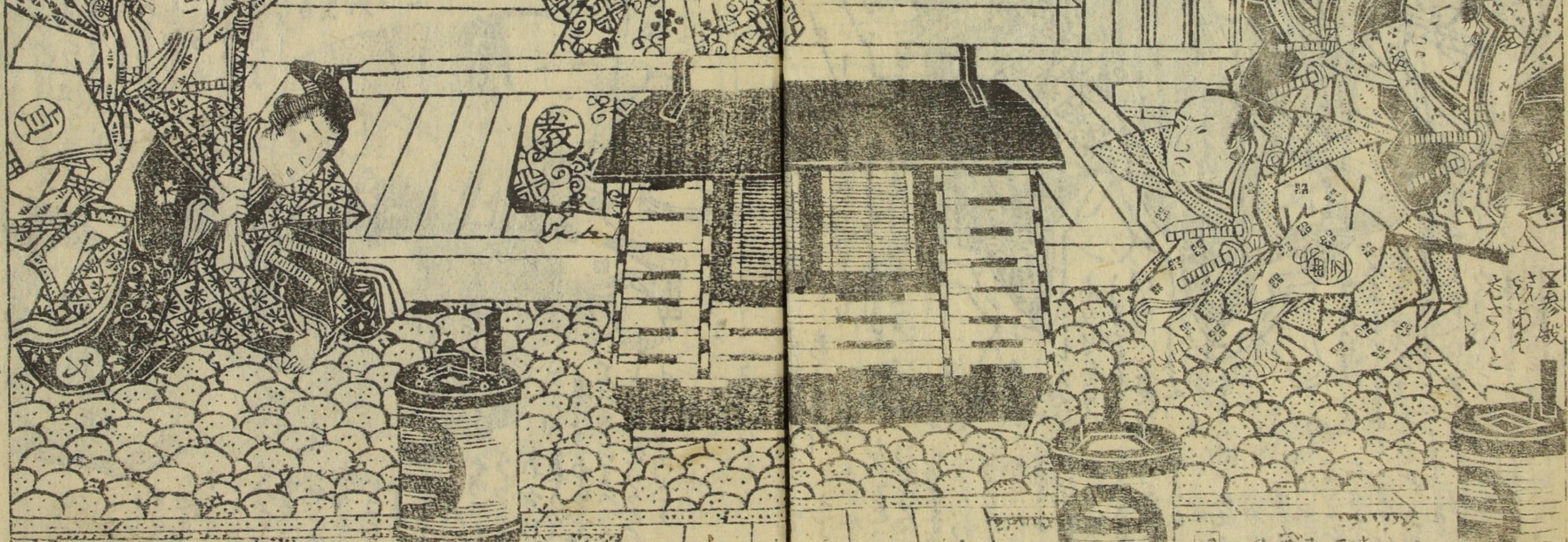
あつめ  
られし  
ミテ  
あつめ  
られし  
ミテ

あつめ  
られし  
ミテ  
あつめ  
られし  
ミテ

あつめ  
られし  
ミテ  
あつめ  
られし  
ミテ



ついでよりのちまうのり...  
 一、御用...  
 二、御用...  
 三、御用...  
 四、御用...  
 五、御用...  
 六、御用...  
 七、御用...  
 八、御用...  
 九、御用...  
 十、御用...  
 十一、御用...  
 十二、御用...  
 十三、御用...  
 十四、御用...  
 十五、御用...  
 十六、御用...  
 十七、御用...  
 十八、御用...  
 十九、御用...  
 二十、御用...



一、御用...  
 二、御用...  
 三、御用...  
 四、御用...  
 五、御用...  
 六、御用...  
 七、御用...  
 八、御用...  
 九、御用...  
 十、御用...  
 十一、御用...  
 十二、御用...  
 十三、御用...  
 十四、御用...  
 十五、御用...  
 十六、御用...  
 十七、御用...  
 十八、御用...  
 十九、御用...  
 二十、御用...

甲 三











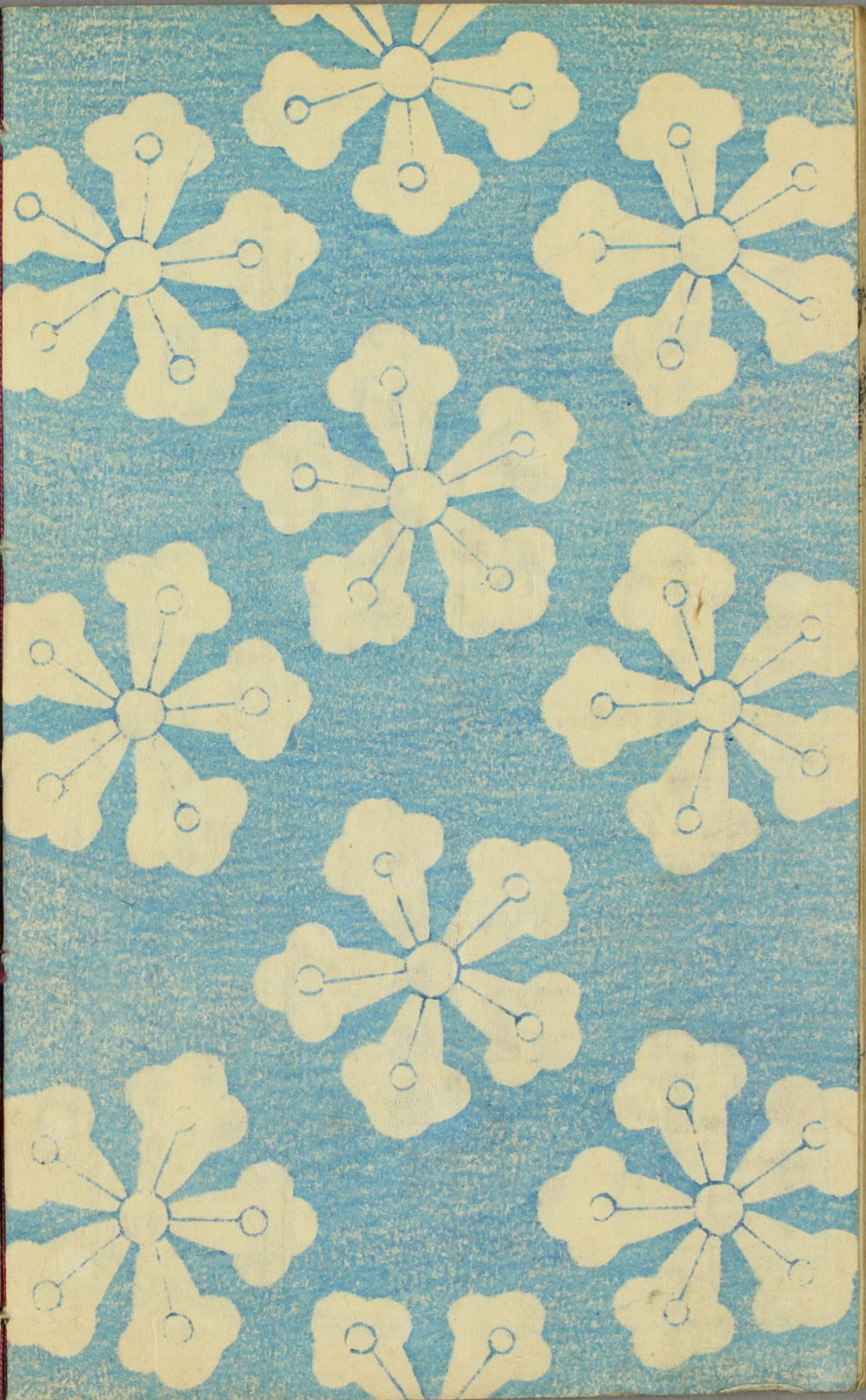


園貞通

三編下



有人化















三の巻の年代は  
 一の巻の年代は  
 二の巻の年代は  
 三の巻の年代は  
 四の巻の年代は  
 五の巻の年代は  
 六の巻の年代は  
 七の巻の年代は  
 八の巻の年代は  
 九の巻の年代は  
 十の巻の年代は  
 十一の巻の年代は  
 十二の巻の年代は  
 十三の巻の年代は  
 十四の巻の年代は  
 十五の巻の年代は  
 十六の巻の年代は  
 十七の巻の年代は  
 十八の巻の年代は  
 十九の巻の年代は  
 二十の巻の年代は  
 二十一の巻の年代は  
 二十二の巻の年代は  
 二十三の巻の年代は  
 二十四の巻の年代は  
 二十五の巻の年代は  
 二十六の巻の年代は  
 二十七の巻の年代は  
 二十八の巻の年代は  
 二十九の巻の年代は  
 三十の巻の年代は  
 三十一の巻の年代は  
 三十二の巻の年代は  
 三十三の巻の年代は  
 三十四の巻の年代は  
 三十五の巻の年代は  
 三十六の巻の年代は  
 三十七の巻の年代は  
 三十八の巻の年代は  
 三十九の巻の年代は  
 四十の巻の年代は  
 四十一の巻の年代は  
 四十二の巻の年代は  
 四十三の巻の年代は  
 四十四の巻の年代は  
 四十五の巻の年代は  
 四十六の巻の年代は  
 四十七の巻の年代は  
 四十八の巻の年代は  
 四十九の巻の年代は  
 五十の巻の年代は



下  
 一  
 二  
 三  
 四  
 五  
 六  
 七  
 八  
 九  
 十  
 十一  
 十二  
 十三  
 十四  
 十五  
 十六  
 十七  
 十八  
 十九  
 二十  
 二十一  
 二十二  
 二十三  
 二十四  
 二十五  
 二十六  
 二十七  
 二十八  
 二十九  
 三十  
 三十一  
 三十二  
 三十三  
 三十四  
 三十五  
 三十六  
 三十七  
 三十八  
 三十九  
 四十  
 四十一  
 四十二  
 四十三  
 四十四  
 四十五  
 四十六  
 四十七  
 四十八  
 四十九  
 五十









Handwritten text in vertical columns, likely a commentary or dialogue, surrounding the illustration on the left page.



Handwritten text in vertical columns, likely a commentary or dialogue, surrounding the illustration on the right page.







